



風っ子・環境キャンペーン



「コンタクトを使っていない人も、協力を呼びかけることで活動に参加できます」と話す生徒会のメンバー

群馬県立前橋女子高等学校は、2017年からコンタクトレンズの空ケース回収を実施。全メーカーが同じ素材で作られています。コンタクトレンズ専門店のアイシティが空ケースを回収・リサイクルし、業者に買い取つてもうつた収益を全額日本アイバンク協会に寄付する活動を始めました。

生徒会書記の佐伯美花さん（2年）によると同校は「生徒の3年）による5割がコンタクトレンズの愛用者」。各クラスに小さなボトルを置いた1年目は30キロも集まつたそうです。ところが2年目は20キロにダウン。全国的に見ると相当な量ですが原因を突き詰め、改善策を考えるのが前女生です。

のボトルを廃止して玄関先に大型コンテナを置いて回収の効率化を図りました。また生徒会新聞に「KFC（古紙・古新聞・コンタクトの頭文字）」という暗号で知的好奇心に働きかけ、読ませる工夫をしました。こうする

前橋市

環境保護も社会貢献も コンタクト空ケース回収で

群馬県立前橋女子高等学校



コンテナでの回収の様子を再現

風っ子・環境キャンペーンを応援します



群馬県立前橋女子高等学校

西村琢巳校長 836人
前橋市紅雲町二丁目19-1
TEL.027-221-4188
<http://www.nc.maejo-hs.gsn.ed.jp/>

がくじゅう ぎょうじ ぶくろじゅうじふ ぎょうじ せいと せきよく
学習だけでなく行事・部活動も充実。たくさんの行事は、生徒の積極的・自主的な活動で運営されています。2013年に、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されました。

身近にできるエコ活動

レジ袋の代わりに風呂敷を使ってみましょう

今年の7月1日からレジ袋が有料化されましたね。そこで、これから買い物では、レジ袋の代わりに風呂敷を使ってみてはいかがでしょうか。風呂敷は、入れる物の量や形に合わせて自由に形を変えることができます。また、素材によっては汚れても洗濯することができ、衛生面でも安心です。結び方にも種類があり、個性的なエコバックとして使うことができます。風呂敷を使って、環境にやさしい買い物を実践してみましょう。

群馬県環境サポートセンター